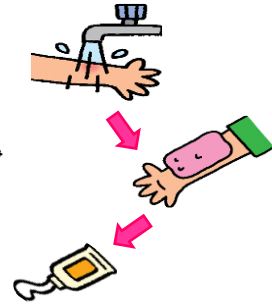


## 蚊のシーズン到来！ 蚊を媒介する感染症に注意！！

わが国には130種ほどの蚊が生息しています。そのうちの約10種が吸血の際に日本脳炎やデング熱、マラリアなどの病気を引き起こすウイルスを媒介します。そのなかでも、発症すると致死率が高い日本脳炎を媒介する「コガタアカイエカ」は、水田、用水路、沼などで大量発生をします。特に、夕暮れから日没後には、蚊の吸血活動が活発になるため注意が必要です。

### 蚊にさされた時の応急処置

- ・水で洗う  
かゆみの原因となる物質をできるだけ洗い流します。
- ・さされた場所を冷やす  
かゆみは冷やすことで軽くなるため、水でぬらしたハンカチなどで冷やします。
- ※ 応急処置をした後は、なるべく早く、かゆみ止めの薬を塗ってかゆみを抑えて下さい。



### 蚊にさされるとかゆいのはなぜ？

蚊が吸血する際に、血が固まらないようにするための唾液を注入します。この唾液に対するアレルギー反応で、かゆみが生じます。



### 蚊にさされないための日常生活の工夫

- ・夏は夜間の外出を控える
- ・網戸を使用し、屋内に蚊をいれない
- ・屋外では、できるだけ長袖、長ズボンを着る。
- ・虫よけスプレーなどを使用

### 病児保育室での感染症対策 ⑩ 日本脳炎と予防接種

日本脳炎は蚊が媒介する日本脳炎ウイルスにより引き起こされる重篤な急性脳炎を起こす病気です。感染を受けても症状が現れない場合がほとんどですが、感染者のうち250人に1人の割合で発症します。発症すると30%の人が亡くなり、生存しても約半数の人が精神障害などの後遺症を残します。日本脳炎に効くお薬はありませんので、予防が大切です。予防は蚊への対策と日本脳炎ワクチンの接種です。予防接種で日本脳炎にかかるリスクを80～90%減らすことができます。定期接種の予防接種を4回確実に受けるようにしましょう。

### 7月のご利用状況

7月の利用人数（延べ人数）は68人、キャンセル数34人、1日平均利用人数は3.5人でした。利用人数はインフルエンザが流行した今年2月に次いで2番目に多くなりました。キッズランチをご利用いただくお子さんも増えています。圧倒的一番人気はおうどんです。準備の都合がありますので、注文は当日の9時30分までをお願いします。疾患別では、高熱がでる夏風邪が最も多く、その他手足口病、アデノウイルス感染症がありました。また入室後にRSウイルス感染症が判明したケースがありました。RSウイルス感染症は近年夏場にも発生があります。特に2歳未満のお子さんは重症になることがありますので、注意が必要です。